



Carrier for data storage disk

Patent Number:  US4773061
Publication date: 1988-09-20
Inventor(s): BERNITT CHARLES J (US); SEMMLER BRUCE J (US); STARK DANIEL J (US);
PETRUCHIK DWIGHT J (US)
Applicant(s): EASTMAN KODAK CO (US)
Requested
Patent: JP63113990
Application
Number: US19860923509 19861027
Priority Number
(s): US19860923509 19861027
IPC Classification: G11B17/04; G11B23/02; B65D85/57
EC Classification: G11B17/04F, G11B23/03A8C, G11B23/03F
Equivalents: AU8016087, CA1302561,  EP0265896, A3, JP1903630C, JP6032181B

Abstract

Disclosed herein is a carrier for a data storage disk. Such carrier comprises means for releasably capturing a disk so that it may be removed by a suitable disk release mechanism and used at a location spaced from the carrier, thereby avoiding any potential for disk damage due to contact with the carrier during disk rotation, and avoiding the need to precisely locate the carrier with a disk drive unit. Preferably, the carrier features enabling disk release are located so the disk release can be effected by the same disk-releasing mechanism no matter which of four different orientations the disk carrier has when inserted into the disk drive unit.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑥ 特許出願公開

⑦ 公開特許公報(A)

昭63-113990

⑧ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑨ 公開 昭和63年(1988)5月18日

G 11 B 23/03

E-7629-5D

審査請求 有 発明の数 1 (全10頁)

⑩ 発明の名称 データ記憶ディスク用キャリア

⑪ 特 願 昭62-270051

⑫ 出 願 昭62(1987)10月26日

優先権主張 ⑬ 1986年10月27日 ⑭ 米国(U S) ⑮ 923509

⑯ 発 明 者 ダニエル・ジョン・ス アメリカ合衆国、ニュー・ヨーク・14624、ロチェスタ
ターク
⑰ 発 明 者 ドワイト・ジョン・ベ アメリカ合衆国、ニュー・ヨーク・14543、ラッシー、ラ
トルーシク ツシニ・リマ・ロード・6195
⑱ 発 明 者 チャールズ・ジョセ アメリカ合衆国、ニュー・ヨーク・14624、ロチェスタ
フ・バーニツト ー、バンビ・レイン・27
⑲ 出 願 人 イーストマン・コダック アメリカ合衆国、ニュー・ヨーク・14650、ロチェスタ
ク・カンパニー ー、ステイト・ストリート・343
⑳ 代 理 人 井理士 川口 義雄 外2名
最終頁に続く

明 細 書

1. 発明の名称

データ記憶ディスク用キャリア

2. 特許請求の範囲

(1) データ記憶ディスクを受容し、かつ解放可能に保持するキャリアであって、該キャリアによって受容及び保持されるべきデータ記憶ディスクの直径より僅かに大きい直径を有する実質的に円形の開口を規定する壁を具えた平面状なフレームと、前記開口内に受容されたディスクを前記フレームの面内で支持するべく取り付けられたディスク保持手段とを含み、このディスク保持手段が

a. 所定の場所において前記壁から剛性的に伸長し、ディスク外周の第一の部分に沿って、押し付けられるディスクを支持するディスク支持手段、及び

b. ディスク外周の前記第一の部分から実質的に離隔した第二の部分に沿って、前記開口内の

ディスクと協力的に係合して該ディスクを押し送り、前記ディスク支持手段と係合させて支持を実現する、前記フレームに移動可能に取り付けられた解放可能ラッチ手段

を含むことを特徴とするキャリア。

(2) ラッチ手段がディスクを、ディスク外周の第一の部分のほぼ中点を通過するディスク接線に対してほぼ垂直な方向へ押し送るべく構成されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載のキャリア。

(3) フレームが移動不能のディスク支持手段をディスク外周から外す第一の方向へ該フレームを押し送る一方同時に、前記ラッチ手段をディスク外周から外す、反対の第二の方向へ、移動可能に取り付けられた前記ラッチ手段を移動するディスク解放機構と係合し得る構造部を含み、それによって、保持されたディスクはキャリアでの最初の位置に対して実質的に変位せずにキャリアから解放

特開昭63-113990(2)

され得ることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載のキャリヤ。

(4) フレームの前記構造部並びにラッチ手段がディスク解放機構に対するキャリヤの向きが四つの異なる向きのいずれである場合も同一のディスク解放機構と係合するように配置されていることを特徴とする特許請求の範囲第3項に記載のキャリヤ。

(5) ラッチ手段が(i)ディスク外周においてディスクと係合して該ディスクを支持するべく構成された面を各々有する1対の移動可能に取り付けられたラッチ部材と、(ii)各ラッチ部材を前記所定方向へ押し送り、ディスクと係合して該ディスクを支持する前記面を移動させ、前記開口内に設置されて前記移動不能のディスク支持手段と係合するディスクと係合させる手段とを含むことを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載のキャリヤ。

(6) フレームが複数個の縁によって形成された

スクのようなデータ記憶ディスクの取り扱い及び運搬を容易にする装置に係る。

1. 先行技術

高密度のデータ記憶ディスクをそのデリケートなデータ記録面に触れることなく取り扱うことが望ましいことは明らかである。これに関し、例えば上記のようなディスクを硬質のカートリッジ内に回転可能に取り付けることが公知であり、その際ディスクは使用時にもカートリッジから取り外されない。例えば、米国特許第4,483,410号に開示された保護カートリッジを参照されたい。上記特許に開示されたカートリッジは複数個のばね付きラッチを含み、これらのラッチは収容されたディスクと、ディスク外周に沿って互いに離隔した複数個の場所で係合する。上記のようなラッチは、ディスクを該ディスクがディスクドライブ内の回転スピンドルに關して正確に位置決めされるようにしてカートリッジ内に正確に配置し、かつディ

スクの外形形状を有し、ラッチ手段の移動可能に取り付けられた各ラッチ部材は当該部材の端面が前記キャリヤ縁のうちの1個と實質的に同一平面内に位置するラッチ位置と、前記端面がフレーム外形形状を越え、前記1個の縁から外部へ突出した位置を取るラッチ解除位置との間を移動することを特徴とする特許請求の範囲第5項に記載のキャリヤ。

(7) 移動可能に取り付けられた各ラッチ部材がフレーム平面内に滑動可能に取り付けられており、かつフレーム平面に対して實質的に垂直な方向へ供給される力にตอบสนองしてディスク外周から遠ざかるべく構成されていることを特徴とする特許請求の範囲第5項に記載のキャリヤ。

3. 発明の詳細な説明

a) 発明の分野

本発明は、データ記録/再生の分野に係わり、特に例えば光ハードディスク及び磁気ハードデ

ィスクがカートリッジ内で横方向あるいは縦方向に突出してカートリッジ壁に接触するのを防止するべく企図されている。ディスク使用時、ディスクドライブユニットに関連するチーバピンが、ばね付きラッチと係合して該ラッチを外す方向へ移動して、ばね付きラッチをディスクの面から妨げない位置へともたらし。

上述のような保護カートリッジは、塵埃その他の汚染物質が存在しない入念に制御された環境において特に有用である。しかし、上述のようなカートリッジは、ディスクドライブのスピンドルがカートリッジ内へ進入して該カートリッジ内のディスクを回転駆動することを可能にする比較的大きい中央開口部を有しなければならないので、比較的制御されていない環境下では汚染の問題を生じる恐れがある。

上述のようなカートリッジの持つ汚染という欠点を回避するために、硬質のジャケットもしくは

特開第63-113990(3)

キャディであって、自身がディスクドライブユニットの制御された領域内に受容された後にのみディスクの取り出しを可能にするものの中に高密度データ記憶ディスクを収納することも当業者に公知である。例えば、米国特許第4,352,174号に開示された光ディスクの保護パッケージを参照されたい。この例においてディスクドライブユニットは、ディスクドライブユニットからジャケットが取り出される時ディスクがドライブユニット内に保持されるようにディスクの保護ジャケット内に直入してディスクを物理的に保持する機構を含む。ディスクの飛散を把持を保護するべく、ディスク外周にはより容易な嵌合を實現し得る幾何した玉縁が設けられる。

データ記憶ディスクをその保護ジャケットもしくはキャディから取り出すことを容易にする別の手段であって、更に取り出したディスクの取り出しをも容易にする手段として、ディスクをその外

べく企図されているためである。使用時、キャリヤは、ディスクがキャリヤのディスク保持部のいずれにも接触せずに回転駆動され得るように、ディスクドライブのスピンドルに関して正確に配置される。ディスク回転時にディスクとキャリヤとが接触しないことが保護されるためには明らかに、ディスクが、キャリヤフレーム内で縦横いずれの方向にも移動する一定の自由度を有しなければならない。そのような移動の自由は保持されたディスク、特に比較的脆弱なディスクに損傷をもたらす恐れがある。そのうえ、上述のようなキャリヤは保持したディスクを、駆動スピンドルの回転軸線に関して正確に配置し得ない。キャリヤがディスクドライブユニット内にいかに正確に配置されても、ディスクがキャリヤフレーム内で移動する自由を有するため該ディスクの半径方向位置は実質的に変化し得る。即ち、ディスクドライブユニットは、望ましい回転軸線から実質的に変位するディ

スクにおいていわゆる“ディスクキャリヤ”によって保持することが公知である。そのような保持を實現する装置は一般的には、通常定形である硬質の平面的なフレームを含み、このフレームはディスクの直径より僅かに大きい直径を有する円形の開口を具えている。開口壁から複数個のタブが半径方向内側へ伸長して、ディスクをディスク外周沿いに互いに離隔した場所で支持する。例えば、米国特許第4,419,066号及び第4,481,617号に開示されたディスクキャリヤを参照されたい。このようなディスクキャリヤは通常全体が保護キャディ内に収納され、ディスクのキャディからの取り出しは、ディスクキャリヤとの係合並びに該キャリヤのキャディからの取り出しによって達成される。

上述のようなディスクキャリヤでは、必要から、ディスクとキャリヤのディスク保持部とは比較的緩く係合する。このような緩い係合が必要であるのは、ディスクがキャリヤフレーム内で回転する

スクを受容し得なければならない。

o) 発明の目的

上記のような観点から、本発明は、データ記憶ディスク用のキャリヤであって、ディスクをキャリヤ自体の構造に関して正確な位置に確実に保持し得、かつディスクを、キャリヤ自体から実質的に離隔した場所での使用のために容易に解放し得るように改良されたキャリヤの提供を目的とする。

本発明はまた、ディスクをその確実に保持された位置から解放する幾つかの部材が2本の対称軸を有するように配置されており、それによって四つの異なる向きの際れにおいてもディスクドライブ内へ挿入され得るディスクキャリヤの提供も目的とする。

d) 発明の構成

先行技術による類似装置同様、本発明のディスクキャリヤは、直径がディスク直径より僅かに大きいデータ記憶ディスク受容用の円形開口を規定

特開昭 63-113990 (4)

する壁を有する平面的なフレームと、ディスクを上記開口内に、ディスクとフレームとが実質的に同一平面内に位置するように保持する手段とを含む。本発明のディスクキャリアを先行技術による装置から隔するものは、上記保持手段の特別の組構である。本発明によれば、上記保持手段はキャリアの開口壁から同軸的に伸長するディスク支持手段と、キャリアフレームに移動可能に取り付けられた解放可能ラッチ手段とを含む。上記ディスク支持手段は開口内に受容され、かつ該支持手段に押し付けられるディスクを支持し、また上記ラッチ手段はキャリア開口内に位置するディスクと選択的に係合して該ディスクを押し通り、上記ディスク支持手段と係合させる。好ましくは、キャリアフレームはディスクドライブユニットに関連するディスク解放機構と係合し得る構造部を具備し、その際上記ディスク解放機構はキャリアを成る方向へ変位させてディスクをディスク支持手段から

うに解放可能に保持するのに有用である。使用されない時、キャリア並びに該キャリアに保持されたディスクは保護キャディ10内に位置し、この保護キャディはディスクをその記録面への損傷から保護するのに十分な保護を有する。使用時、キャリアを受容したキャディはディスクドライブユニット2内へドア2aから挿入される。キャディがディスクドライブユニット内に進入すると該ユニット内部の機構が、ディスクキャリアをキャディから取り出してキャディをユーザに還すべく機能する。ディスクドライブユニット2は、ディスクをそのキャリアから解放して、回転のために駆動スピンドルアセンブリ上に設置する装置を含む。このような装置は、本出願の対馬米出願と同時にBeigle Petrucci名義で出願され、共に本出願の出願人に譲渡された米国特許出願第983,568号に詳細に開示されており、本明細書では本発明のディスクキャリアと直接協働する構成要素についてのみ説

解放し、また他方ではラッチ手段をラッチ解除位置へと移動してディスクから外し、それによってディスクは実質的に変位せずにキャリアから取り外される。前に好ましい具体例では、上記ディスク保持手段及びディスク解放機構はキャリア上に、ディスク解放機構に対するキャリアの向きが四つの異なる向きのいずれであってもディスク解放機構と係合し得るように配置されている。

添付図面中第1図は、ディスクドライブユニット2及びデータ記憶ディスクアセンブリ4を含むデータ記録/再生システムを示す。データ記憶ディスクアセンブリ4は基本的に、硬質のデータ記憶ディスク6、ディスクキャリア8並びに保護キャディ10を含む。後段に詳述するように、ディスクキャリア8は、ディスク6を該ディスク6がキャリア8の内部で正確かつ確実に心合わせされ、かつキャリアから離隔した平面内で回転するべくキャリアから容易に取り外されることも可能であるよ

明する。

第2図及び第3図において、図示したキャリア8は、硬質のデータ記憶ディスク6を受容する概して円形の開口13を規定する壁部分12aを有する平面的なフレーム12を含む。図示したように、開口13の直径は、ディスクを容易に収納できるようにディスクの直径より僅かに大きい。そのうえ、ほぼ円形の開口13は4個の拡張領域13aを有し、これらの領域13aはディスクドライブユニットの、キャリアからの解放の際にディスクを支拂するべく機能する同等のディスク支持部材(図示せず)を受容する。後段に詳述するようなディスクラッチ及びラッチ解除部に加えて、キャリアフレーム12は(ディスクドライブユニット内へ挿入される際のキャリアの向きによって決定される)その前方及び後方縁部に互つかの切除部C及びノッチNを具え、これらの切除部C及びノッチNはディスクドライブユニット内のキャリア位置決め機構

(M、M')と協働して、キャリアを望ましい回転軸線に関して正確に配位する。上記切欠部C及びノッチNの形状及び位置は、キャリアが四つの異なる向きのいずれにおいてもディスクドライブユニット内へ挿入されることを可能にする。

キャリアの製造を容易にするために、フレーム12は機械的に結合されて図示のようなフレーム形態を実現する様々な外殻構成要素を含むことが好ましい。そのような構成要素には、例えば互いに反対の側部に位置する1対のレール14、15並びに1対の端部部材16、17が含まれ得、これらの要素はいずれもプラスチック(例えばポリカーボネート)を、図示のような形状を付与するべく射出成形して形成され得る。例えばアルミニウムから成る複数個の金属板状プレート18並びに適当な留め具19が、部材14～17を図示のように結合するのに有用である。

先に述べたように、キャリア8は、ディスクを

実質的支持を実現することと、後述するようにキャリアフレームからディスクを該ディスクの実質的な位置を伴わずに解放するのを容易にすることとの兼ね合いで決定される。好ましくは、タブ22は壁12aと一体に、キャリアフレームの前方端部要素17の製造に用いられる射出成形法によって形成される。

解放可能ラッチ手段30は好ましくは1対の可動ラッチ部材32を含み、これらのラッチ部材32はディスク外周の点A、即ち支持手段20が支持を実現する円弧の中点を通る接線Tに対して垂直である方向に移動するべく、キャリアフレーム要素によって規定されたスロット33内に滑動可能に取り付けられている。第5A図及び第5B図に示すように、各ラッチ部材32はV字形横断面を有するラッチエッジ32aを有し、このエッジ32aはディスク外周の形状に対応する弓形の形状を付与されており、かつ適合したディスクを両面から支持するよ

キャリアフレームの平面内において正確に位置決めし、かつ解放可能に保持するディスク保持手段を含む。このディスク保持手段は、ディスク外周に沿った第一の場所(A)で押し付けられるディスクと適合して、該ディスクを支持するディスク支持手段20と、ディスク外周に沿った一つ以上の別の場所(B)で選択的にディスクと係合し、該ディスクを押し進めて支持手段20と係合させるべく構成された解放可能ラッチ手段30とを含む。

好ましい具体例によれば、ディスク支持手段20は複数個の定置支持タブ22を含み、これらのタブ22は開口13を規定するフレーム壁12aに、該壁12aから一定角度で伸長するように取り付けられている。第4図に最も明瞭に示したタブ22は、ディスクが押し付けられると、互いに協働してディスクを両面から支持する。好ましくは、タブ22はディスク外周を、約15°の比較的小さい角度の円弧にわたって支持する。そのような円弧の長さは、図

うに調整する。ラッチ部材32はその同軸極部に一体的なパッド34を具備し、これらのパッド34によってスロット33内での滑動が容易となる。更に、各部材32は面取りされた縁35aを具えた矩形開口部35を有し、前記縁35aは(上記米国特許出願に開示されたディスク解放機構に関連する)可動遮しピン40のチーバエッジ40aと係合するべく構成されており、前記係合によってラッチ部材32は、ディスクから外れて該ディスクを解放する方向へ押し進められる。後述するように、部材32の上記のようなラッチ解除移動は任意にばね36の抵抗を受け、このばね36は一定のキャリアフレーム製造部とは離してラッチ部材32を、エッジ32aがディスク外周と係合するラッチ位置へ向けて接線Tに垂直な方向へ押圧する。ばね36は部材32において、該部材32内部に形成されたスロット37内へ伸長する突出部38によって支持されている。

第6A図及び第6B図は、ラッチ部材32の縦断

特開昭 63-113990 (B)

を最も良く示す。図示したように、ラッチ部材 32 は、フレーム要素 14 及び 16 それぞれの互いに平行に延出した縁 14a 及び 16a によって規定されたスロット 33 内に滑動可能に取り付けられている。先に述べたように、要素 14 と 16 とは、キャリアフレームの上下両側で部材 14 及び 16 に跨る 1 対の対向プレート 18 によって結合されている。第 6 A 図ではラッチ部材 32 はラッチ位置にあり、この位置において、V 字形横断面を有する弓形ラッチエッジ 32a はディスク 6 の周縁 6a と適合する。ラッチ部材 32 は上記ラッチ位置に、圧縮ばね 36 によって及ぼされる弾圧力によって保持され、その端ばね 36 の一端はラッチ部材 32 内部のスロット 37 の前方端部と結合しており、また他端は、プレート 18 からスロット 33 内へ伸長する 1 対の対向突起 18a と結合している。差しピン 40 はラッチ部材 32 の矩形開口部 35 に、互いに対向するキャリアプレート 18 に設けられた、開口部 35 より僅かに大きい矩形開口部 18b を通って挿入する。図 7 面に垂直なラッチ解除力が差しピン 40 によって開口部 35 の周縁 35a に付与されると、ラッチ部材 32 は第 6 B 図に示したそのラッチ解除位置へと移動する。キャリアがディスクの保持に用いられていない時も常にラッチ部材 32 をスロット 33 内に留めるために、キャリアフレーム要素 18 にストッパ 16b が設けられている。このストッパ 16b は一方のパッド 34 と協働して、部材 32 の前方への移動を制限する。

第 6 A 図に関し、ラッチ部材 32 がそのラッチ位置にある時該部材 32 の自由端部 32b はキャリアフレームの 1 組の縁と実質的に同一平面内に位置することが維持されるべきである。一方、ラッチ部材 32 がそのラッチ解除位置にある(第 6 B 図)時は、部材 32 の自由端部 32b は実質的に上記縁から外面へ突出する。ラッチ部材 32 の寸法をこのように決定することによって、キャリアがキャディ 10 内に収容されている間ラッチが不用意に外れることが

回避される。キャリアがキャディ内に収容されている間はキャリアフレームの縁はキャディ壁 10a 内側に当接していることに留意されたい。即ち、ラッチの、ディスクから外れそうになる移動は一切キャディ壁によって妨げられる。

キャリア 8 の設計において、ばね付きラッチがディスクを電磁ディスク支持部に押し付けることも提供されるべきである。この構成によって、ディスクはキャリアフレーム内に正確に、かつ確り定して配位される。この構成は、ばねによって押圧された複数個の、いずれも半径方向力を及ぼすラッチによってディスクが支持される上記米国特許第 4,433,416 号に開示された構成と対照されるべきである。上記米国特許に開示された構成では、各ラッチのばね力がその他の全ラッチの力に対抗し、ばね力が時間と共に変化するにつれディスクが支持カートリッジ内で変位する。そのうえ、先行技術によるこのような構成では各ラッチは半径

方向に移動するように取り付けられており、復原力はディスクの中心で発効するのでラッチ解除力は主として狙いばねの抵抗を受ける。これに対し、本発明のキャリアに設置されたラッチ部材は半径方向には移動せず、好ましくはディスク支持部 20 の中点を通る横線 T に垂直に移動する。従って、復原力がスロット 33 の縁に関して角度を成して作用し、その結果ラッチ部材 32 とスロット縁 14a との間の摩擦が増大することによって、ラッチの解除移動に抵抗するばね力が補足される。更に、この構成は、ラッチスロット 33 の形成に必要な公差を減少する。

第 6 A 図に関し、ラッチ部材 32 がそのラッチ位置にある時該部材 32 の自由端部 32b はキャリアフレームの 1 組の縁と実質的に同一平面内に位置することが維持されるべきである。一方、ラッチ部材 32 がそのラッチ解除位置にある(第 6 B 図)時は、部材 32 の自由端部 32b は実質的に上記縁から外面へ突出する。ラッチ部材 32 の寸法をこのように決定することによって、キャリアがキャディ 10 内に収容されている間ラッチが不用意に外れることが

回避される。キャリアがキャディ内に収容されている間はキャリアフレームの縁はキャディ壁 10a 内側に当接していることに留意されたい。即ち、ラッチの、ディスクから外れそうになる移動は一切キャディ壁によって妨げられる。

キャリア 8 の設計において、ばね付きラッチがディスクを電磁ディスク支持部に押し付けることも提供されるべきである。この構成によって、ディスクはキャリアフレーム内に正確に、かつ確り定して配位される。この構成は、ばねによって押圧された複数個の、いずれも半径方向力を及ぼすラッチによってディスクが支持される上記米国特許第 4,433,416 号に開示された構成と対照されるべきである。上記米国特許に開示された構成では、各ラッチのばね力がその他の全ラッチの力に対抗し、ばね力が時間と共に変化するにつれディスクが支持カートリッジ内で変位する。そのうえ、先行技術によるこのような構成では各ラッチは半径

方向に移動するように取り付けられており、復原力はディスクの中心で発効するのでラッチ解除力は主として狙いばねの抵抗を受ける。これに対し、本発明のキャリアに設置されたラッチ部材は半径方向には移動せず、好ましくはディスク支持部 20 の中点を通る横線 T に垂直に移動する。従って、復原力がスロット 33 の縁に関して角度を成して作用し、その結果ラッチ部材 32 とスロット縁 14a との間の摩擦が増大することによって、ラッチの解除移動に抵抗するばね力が補足される。更に、この構成は、ラッチスロット 33 の形成に必要な公差を減少する。

キャリア 8 の上述のようなディスクラッチ手段に加え、ディスク 6 をキャリアフレームから、該ディスク 6 の実質的な変位を伴わずに解放することを容易にする一定の付加的手段を指摘することも重要である。キャリアフレーム要素 17 には、ラッチ部材 32 の、ラッチ解除をもたらす矩形開口部 35

特開昭63-113990(フ)

と整列する2個の矩形開口部50が設けられている。構成により、矩形開口部50と35とは一つの矩形パターンを規定する。開口部35同様、矩形開口部50は、ディスクドライブユニットのディスク解放機構の陥凹部と組合するべく構成された凹部を具えている。第2図において、ディスク解放機構の4個のディスク解放差しピンが下方へ移動し、矩形開口部50及び35と係合すると、ラッチ部材は先に述べたようにラッチ解除位置に移動し、それと同時にキャリヤフレームが反対方向へ移動して、ディスク外周をディスク支持手段20との係合から解放する。同様に、ディスクはキャリヤによって支持されるあらゆる支持から同時に解放され、その結果真直線的にX方向に変位することなく取り外される。本発明のラッチ解除構造の配置によって、ディスクドライブユニットの4個のディスク解放差しピンは、キャリヤのディスクドライブユニット内への挿入並びに該ユニット内での正確な位置

からの解放の間ディスクは真直線的に変位しない。更に、キャディ内でラッチの、ディスク外周と係合しない方の端部がキャリヤの縁と同一平面内に位置し、真直線的にキャディの内壁に当接するようにラッチの寸法を決定することによって、ディスクがキャリヤから不用意に外れる機会が減少される。

4. 図面の簡単な説明

第1図はデータ記録/再生システムの斜視図、第2図は本発明によるディスクキャリヤの好ましい具体例の斜視図、第3図は第2図に示したキャリヤの上面図、第4図は第3図の装置の図4-4における断面図、第5A図はディスクラッチ部材の上面図、第5B図は第5A図のラッチ部材の側面図、第6A図及び第6B図はディスクラッチ部材の移動を示す、第2図のキャリヤの一部の拡大上面図である。

2……ディスクドライブユニット、4……データ

決めが四つの異なる向き of のいずれで付なわれ得るにせよディスクキャリヤ上で該ディスクキャリヤからディスクを解放するべく機能し得ることも、指摘されるべきである。即ち、キャリヤはディスクドライブユニット内へ第2図に示した向きで、あるいは第2図のキャリヤをX軸に関して180°回転して得られる裏返しの向きで、あるいは上記二つの向きからキャリヤをY軸に関して同様に回転して得られる二つの向き of のいずれかで進入し得る。

c) 発明の効果

これまでの説明から、実質的に改良されたディスクキャリヤが開示されたことは明らかであろう。位置保持部と可動保持部とを組み合わせることにより、ディスクはキャリヤ内に、従ってまたディスクドライブユニット内に正確に配置され得る。可動ラッチ及び開口部50の設置によって、ディスクは同一のディスク解放機構によって四つの異なる向き of のキャリヤから解放され得、またキャリヤ

記憶ディスクアセンブリ、6……ディスク、8……ディスクキャリヤ、10……保護キャディ、12……フレーム、13……開口、14～17……フレーム構成要素、18……プレート、19……留め具、20……ディスク支持手段、22……支持タブ、30……解放可動ラッチ手段、32……ラッチ部材、34……パッド、35,50……開口部、36……圧縮ばね、40……差しピン。

発明人 イーストマン・コダック・カンパニー
代理人 弁護士 川口 義雄
代理人 弁護士 中村 至
代理人 弁護士 船山 武

特開昭 63-113900 (8)

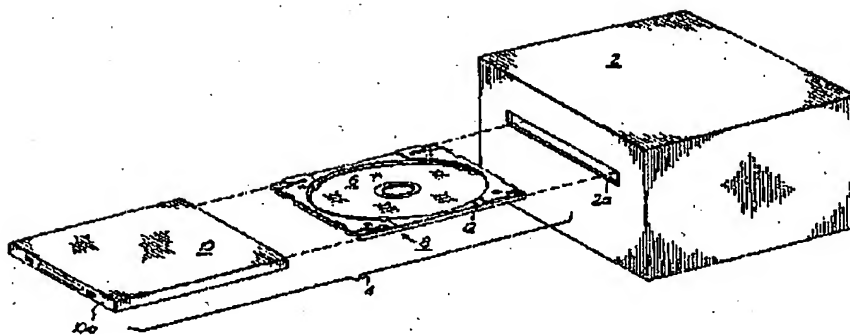


FIG. 1

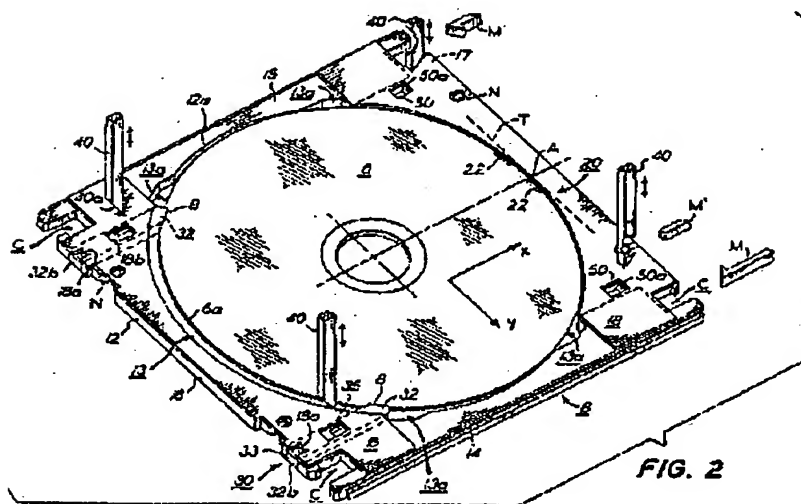


FIG. 2

特開昭63-113930(9)

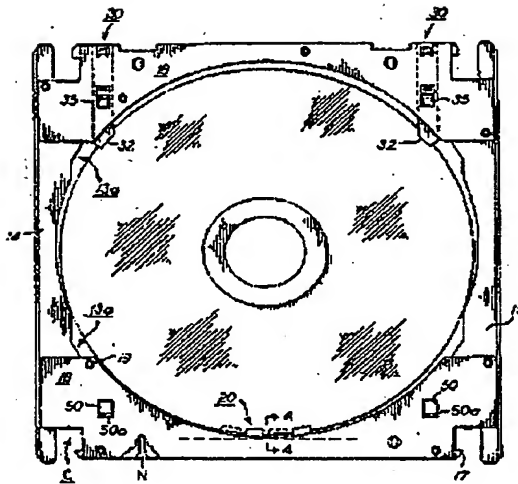


FIG. 3

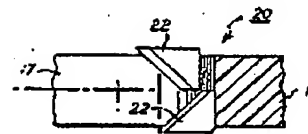


FIG. 4

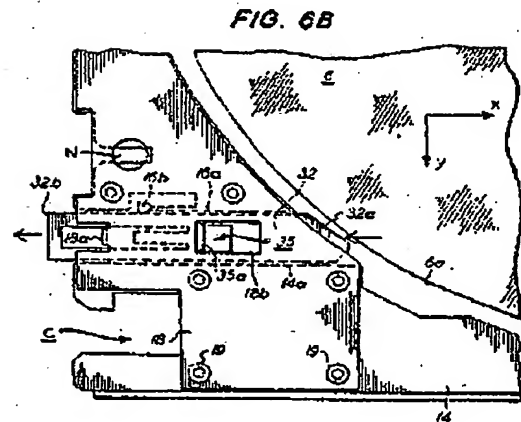


FIG. 6B

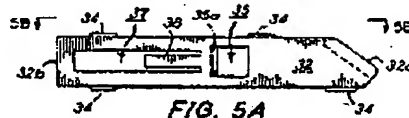
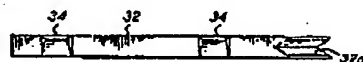


FIG. 5A



特開昭63-113990 (10)

第1頁の続き

④発明者

ブルース・ジョン・セ
ムラーアメリカ合衆国、ニュー・ヨーク・14559、スペンサーポ
ート、オージェン・パーマ・タウンライン・ロード・1063